

きらきらアルミのペンダントを作ろう (生活科)

◆ものづくりのわらい

- アルミなどの金属はたたくと延びる、という性質を利用してペンダントを作る。
- 鉄のくぎで凹（へこ）みをつけることで、金属の種類によって硬さが違うことに気づく。
- ペンチ、かなづちなどの道具がうまく使えるようになる。
- 凹みにビーズや石英のつけ方を工夫することができる。



◆準備物

【材料】アルミ線（太さ3mmくらい）、ビーズ、校庭で拾った石英。カラー水系。

【道具】かなづち、金床、ラジオペンチ、ハサミ、四寸くぎ、ピンセット、手芸用ボンド（ビーズ用）、軍手、紙やすり

◆作ってみよう！…きらきらアルミのペンダント(6年生へのプレゼントに)

- ① アルミの針金を30センチぐらい、ラジオペンチで切る。
- ② ペンチで、好きな形に曲げる。3mmぐらいの太さになると、子供の力ではなかなか曲げにくいので、ペンチで線の端をはさんで、もう一方の手で曲げるとよい。
- ③ 金床の上において、金づちでトントンたたいて、薄くたたき延ばす。
(指をたかないように気をつけさせる。)
- ④ ビーズを付けたいところに、くぎを使って凹みをつける。(くぎの先は少し丸めておく) 針金の中心を打たないと、凹みが外に飛び出してしまうので注意。
- ⑤ 作ったへこみに手芸用ボンドをたらし、ピンセットを使ってビーズを入れる。
- ⑥ ボンドが固まったら、ひもを通してペンダントのできあがり。

◆アルミ線をたたき延ばすと、金床などのさびの汚れが付着することもあるので、延ばした後に紙やすりでみがいてから、次の作業に移らせてもよい。金属光沢をやや意識させるねらいもある。